

# 齋藤茂樹の 北関東巡り



令和6年(2024)1月24日

## 38

## 日光で新たな発見！

前号(#37)で日光の東照宮／二荒山神社／輪王寺などをご紹介しましたが、今回はその時わたくしが新たに発見したことや再確認したことについて述べます。

### 東照宮五重塔：東京スカイツリーにも応用された耐震構造

東照宮の五重塔は、地中とのつながりがなく、地面の上に「置いてあるだけ」の状態にも係わらず、大きな地震で倒れないのは、建物の中心を貫く「心柱」が、絶妙なバランスをとって揺れを防いでいるからといわれています。心柱は懸垂式（吊り下げ型）で、地盤より10cmほど浮いた状態でぶら下がっています。これは「心柱制震」と呼ばれる当時の優れた免震技術です。

東京スカイツリーは、五重塔の技術を応用したといわれています。高さ634m(武蔵！)ですが、その中に375mの芯があります。外側と芯は分離されているので、地震が来ても揺れ方が異なり、ツリー全体で揺れが相殺される仕組みとなっています。



### 東照宮五重塔：蛙股部の十二支の彫刻

五重塔一層目の蛙股部※には、名工・後藤正秀が手がけた十二支の彫刻があります。東西南北の4面に3種類ずつ並んでおり、東側(正面)の寅・卯・辰は、徳川三代将軍(家康、秀忠、家光)の干支に対応しています。

※ かえるまた かえるまた 蛙股: はり けた 臺股とも書く。社寺建築で、梁や桁の上に置かれる、山形をした部材。  
本来は構造上必要な支柱であったが、のちには装飾化した。



黒田長政寄進の東照宮石鳥居は九州から運ばれたものです。



神厩舎は時間帯によっては中の馬を見ることができます。



伊達政宗が寄進した鉄の燈籠はポルトガルから輸入したもの



陽明門前の石の柵には飛び越える獅子がいる



陽明門の柱の一本は逆向きの図柄で未完成を表す。

(完成後は崩壊が始まるので未完成を示す。)

<sup>ひづめ</sup>蹄のある白い龍の彫刻の下に中国の子供たちの彫刻があり、  
命の大切さを示す故事を示している。



渦巻きの向きがこの柱だけ逆

唐門の屋根の上に<sup>つつが</sup>恙という霊獣が足環をはめられている。  
凶暴な生き物で「つつがない」の語源となっている。



参道の入り口に眠り猫がいます。反対側には雀が平和に過ごしています。



家康の廟の前の門に蜃<sup>しん</sup>という霊獣が気を吐いています。  
これが蜃気楼！



徳川家光の廟のある輪王寺大猷院<sup>りんのおうじだいゆういん</sup>の夜叉門の「うまるきゃ」という  
鬼神像のひぎに象がいて膝小僧の語源となっています。



ふたらさん  
二荒山神社には長さ260.5センチもある「太郎丸」という太刀がありました。



二荒山神社境内の「夫婦杉」の間からみえる門のハートマークが最近注目を集めています。



二荒山神社には以下のような格言が小道沿いに点々と表示されています。

「やってもダメならダメなやり方を改める」

「一步退くくらいなら思わず一步進んでみよう」

「美しい人生を見たいなら心の窓を綺麗に磨くことだ」

「いつも好かれようとするといつか疲れてくる」

「夢や願望への執着心を持って、いい人間関係を築くこと」

「道徳心を養うこと」

「うまく話そうとするとうまくいかない 普通に話そうとすれば  
うまくいく」

「「ありがとう」を多く言うとストレスが少なくなる」

「他人に花を持たせよう 自分に花の香りが残る」

「意識改革 あなたの心を変えること」

「成功するには 明確で具体的な「結果のイメージ」を描くこと」

「振り向くな 後には夢がない」

「大切なことは 倒れないことより すぐ起き上がることです」

「過去は安い本と同じ 読んだら捨てればいい」

「行動しなさい そうすれば力が湧いてきます」



## 〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

<a href="#">#1</a> 鎌倉殿の13人	<a href="#">#16</a> シアトルの花見	<a href="#">#31</a> 陶器・像形展から銀座・日本橋界隈を散策
<a href="#">#2</a> 紅葉の群馬県	<a href="#">#17</a> 宇都宮市民合唱祭	<a href="#">#32</a> 宇都宮芳賀ライトレール線開業
<a href="#">#3</a> 栃木、埼玉の名所	<a href="#">#18</a> 桜の名所 愛知・兵庫	<a href="#">#33</a> 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮
<a href="#">#4</a> 栃木、群馬県庁	<a href="#">#19</a> 群馬の桜と上毛かるた	<a href="#">#34</a> コーア・リト 第5回演奏会
<a href="#">#5</a> 全国御守り特集	<a href="#">#20</a> 交通の要所・館林	<a href="#">#35</a> 江戸城周辺散策
<a href="#">#6</a> 世良田東照宮・家康	<a href="#">#21</a> 第50回宇都宮市民合唱祭	<a href="#">#36</a> 古巣の合唱団ノース・エコーとボーイング
<a href="#">#7</a> 栃木・益子の陶器	<a href="#">#22</a> 骨波田の藤と塙 保己一	<a href="#">#37</a> 4泊5日の日光満喫旅行
<a href="#">#8</a> 奥の細道むすびの地	<a href="#">#23</a> 大室古墳群、鼻高展望花の丘	
<a href="#">#9</a> 古鎌倉街道	<a href="#">#24</a> 桜とあじさい、紅葉の太平山	
<a href="#">#10</a> 新田義貞・上毛かるた	<a href="#">#25</a> ドン合唱団 歌い続けて65年	
<a href="#">#11</a> 慈覚大師 円仁	<a href="#">#26</a> 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	
<a href="#">#12</a> バレンタインチョコ	<a href="#">#27</a> 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	
<a href="#">#13</a> 梅の名所 愛知・京都	<a href="#">#28</a> お盆飾りを調べてみた	
<a href="#">#14</a> 梅の名所 栃木・群馬	<a href="#">#29</a> KTC混声合唱団を聴く	
<a href="#">#15</a> 早咲きの河津桜	<a href="#">#30</a> 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	

Back

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る